



一隅を照らそう  
4月号

291号  
毎月28日発行

E-mail:info@tougakuin.jp

## “そつくりさん”への憧れ

住 職 中島 有淳

四月八日は、お釈迦さまのお誕生日で“花まつり”です。この日お釈迦さまは、インドのルンビニ（現ネパール）でお生まれになりました。父はスッドダーナ王で、母はマヤ夫人です。王子として生まれたシッダルタ（幼名）は、生後一週間で母を亡くしますが立派に成長。やがて地位を捨てて、出家を決意するのです。種々な苦行の末、ブッダガヤという場所の菩提樹の木の下で一人、坐禅（瞑想）をしてついにお悟りを開かれました。

今日、そのお姿は仏教の象徴として馴染み深く、多くの国々でもそのお姿は見られます。私たちは“瞑想する”といえば、坐禅のスタイルになつて静かにお釈迦さまを想うことです。ですから、お釈迦さまと同じ体験（坐禅）をすれば、少しでもそのお気持ちに近づけないものかとは誰しも思うものです。

そこで更に想います。よくテレビでタレントさんがものまねで、目じりを上げたり、下げたり、かつらをかぶつたり、セロテープで鼻をもち上げたり……種々な工夫をして、声も上手に歌つて楽しませてくれています。中には素晴らしい歌唱力の人や、随分と大げさにくせを表現したりして……。

しかし顔かたちや声が似ていても、各人の心は全く別です。本人とは違い、タレントさんは“受け”を狙つて演じているのですから……。

密教では身（体）口（語）意（心）を「三密」と言い、大変大切な行法であり、手に印を結び、口に真言を唱え、心で仏を觀想します。これはあたかも自分が仏さまになつたつもりでスタイルを真似し、お経を唱え、その教えに心を運ぶのです。修行とはそれを期間を決めてトレーニングをする事といえます。それを完成することが「即身成仏」といい、仏さまになることです。

しかし、これで完成という境地はありません。身、口、意の内容はそれを実践しようとする程、甚深なる世界と知ります。常に反省をしながら、きちんと修せねばなりません。もしその方法が間違つていたら仏さまにはなれないのです。それ故、密教というわけです。

また、お経を読むというのは仏さまの教えを読むことで、自分の修行です。自分が得をし、功徳が自分に向けられます。しかしこれだけではなく皆にもその功徳を施し分けねばなりません。自分の功徳を回りに向けることが回向です。そうでないとお参りをしたことにはならないのです。これが大乗仏教の大切なところです。

願似比功徳 願わくはこの功徳をもつて

普及於一切 普く一切に及ぼし

我等与衆生 我等らと衆生と

皆共成仏道 皆共に仏道を成せんことを

日々生活が出来たら、「一隅を照らす」立派な人といえます。

ムスカリ

お彼岸のお中日の雪には

大変驚きましたが

辛夷が咲き

華やかになつてきました

赤・白・黄

色とりどりのチューリップ

ひときわ鮮やかな

ムスカリの青い花

カラフルな春の訪れです

（遊）



一月例行事案内

◎八 日 午後二時  
薬師如来祈祷会 観音經誦誦

◎十二日 午後二時  
智泉院法要日（於・日本橋茅場町）

◎十八日 午後二時  
観音經誦誦法要（於・神木觀音堂）

◎四月二十八日 午後二時  
大般若転読大護摩

\*毎朝六時より公開で朝のお勤めをしております

\*都合のよろしい時にはご一緒にどうぞ

ご希望の方には  
お札を授与しております  
どなたもご参詣下さい

### <ワークショップ（申込受付中）のご案内>

○森友学園の財務局土地文書改ざん問題では、首相官邸は関与を否定。でも気分の良いやり取りではありません。

○三月、四月は人が大きく移動します。「会うは別れのはじめ」といいますが、「別れは出会いのはじめ」でもあります。良い縁がありますように。

○先日はお彼岸の中日に、雪が降り積もつたのには驚きました。“三寒四温”的陽気に桜も開花。ウグイスも鳴き始めこれら一気に春めくことでしょう。

○毎年のことですが、「つつじ」の開花具合が気がかりです。4/28の「大般若転読大護摩」の頃が一番見頃かと……。皆さまお誘い合わせの上お出かけ下さい。

あとかき

記

\*日程 4月23日(月)~30日(月)  
\*時間 毎日11時~15分程度  
\*場所 本堂前にて